ı	ALL AND	流力	* *	· †		<u> </u>	بقديد	第	£0:	H	加	月		作		E *		71:	三	Mit IM	ξ.		25-0	7/4"								解而	K			朝山			*	0	H-I	: +:		月三	一	辛	歴覧の英		¥	· (可)	認和	勿便	郵和	•	(M)		(-			, .
	來各種雞問題の後生急避っ刀筒での鐵道廳所での密山炭礦を日で新任果や鐵道長管「오乙至1吴」氏に過日、昵近者の刃對での將「八丁」	日人乎	総係					等すく 乗覧 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞		脱貨宴が参 ボハナーを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	孫氏說任当領事團	· 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	111			可回の氏と『冬三・列三〇一會員『對き流説』の指摘		77日 十億馬克里收入宣得宴奉出信司中司司(倫州電) 11	調査を後言る言地力量占領で四確とす 毎年正貨十億五千萬島	聯合。間当協定5世号先全でカヨモ中の中聯合威専門家是數字 -	耳 イビッグサン	統合國針蜀族官	倫敦電)	라	 	といとはしくら聞いくなどこう	大百萬非 5 遠さこ海軍大彦算案OJ無事お下院60 通過で9で10mm	て「「「」」「「「」」「「「」」「「「」」「「」」「「」」「」「」」「「」」「		米海軍大務第案	いたさいことはいう	可央をジョン(華盛領軍)	記言文字是古川 系計 対局等口を 当こ オン 三甲・フェン シ	和 柔 現	「日 (立里雄)	方占領急目的する動員開始多聲明する	首相學可於氏七三日星州同國의「异全		中国力主開学月	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	一一九年撥兵の一部宣得多今のとスの五叉其他の「早」と地方占領一田	多数)外此最可决包非右法系列依点呼 一九二)年骏兵论一九一条,是秦集曹帝敖定刘法条合佛顾下院 5 名 七十三票 为四十五票	人式召集で四叉に豫備兵の己早司半箇年乃至十八箇川間の志日本人式召集で四叉に豫備兵の己早司半箇年乃至十八箇川間の志日本	筒年兵役服務景終了社を展取らる一件現役 s 止ぎれ 在軍兵会	佛占領兵備整頓	(華盛館山) 重文	デシュ地方の侵入するらいではる 要求をとれまず知り中国では、成及伊太和ブリュ佛殿を援助する拒絶すせ 米蔵の佛園の動き 女子	为业位上旬 万坐	代計市一丁頁です	- 12	不	iā į		Ħ	りができらいい。	12	が親お祭井紀平	E T	TX.	
二十世紀新生活初於引	帝雄時教は後成所長各道「設」山佐の東多数を教員会要を持つ。 オーカー 仮り物等事 極電影器 第88		各道の普通師範外の適宜数等が影響を表現の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の一種の	事を対する。	道な又に併那な of RH 分と置る。「トート を工適富を個所で適宜が数量 相談	、質業學校を最工商三種で分している。	個所、女子學校一個所一年度2000年2000年2000年2000年2000年2000年2000年20	ナードジャーを首は別を以上大正 モニ	が設置を事 の一位でも用するも可す。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	「文式を持たく言語なる」と「ない」を対して、一方では、一文式を持たく言語なる。 とう数一千月 でい	対設置で立府及道廳所在地川一一学初等學校一校以上参照立の三一一名	一面一校制章實行可印每面5	、大正十一年度早刊切浄事を「日記記の施設」で選挙	業、高等 諸教育の豆での際」を研	で情勢の鑑り作初等、中等、質・プタイプ・インドでは、一つのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	以であげ、10年10年2月時代間以 ・ 大畑の日の日の一方の豆と現時代間以 ・ 大畑の	義務《育二準備施設等四半 己一	物質が重要を対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の	というないのが、	対重率但地方의情况及に特殊 当場	初等學校と府立又と面立ら一十、中では「一杯」のでは、	night、存在又言作とclash End	の三分、普通師範以校と道立		「官公立の一分學校会設置す」 オタ	闘さい	教育的	建議案	鮮考了善及三	朝处与改建的	·裁判所監督官協議院長局長 代表 2	法院長主宰)後、局監督官系協プラ会長、日監督官が議一場、日監督官が議一場、日監督官系は、日本の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	△七日人事妥協△九日儉事の河傳	「裁判所後 平局監督官協議事 人二一の状の執告 4 六日は な鳥長注 5 卍県	五日總督訓示、法務局長注意四颗生	日程の別がでは、一日代の別がある。	百岁官職上和	リヒュア・ゴー コヒ 一京城生	9月日(東京市)	が地方裁判所検事局의 収調会 井木木林 かかけ 長野 村間太郎博士 311日 以後後	野村滿鐵頭取調 至前3		木。實	呼杯や米買		2年12注意가有でダス中で絶数三断で至さら4年(見な近)	知り中日で自己営業者以反對之と命令当川收入と伊國の對す。姓で列と「蘇東聯斗企建資施と意外当	市場。	金建實施變	のない 東上東大宮川野ガル	人で 召集 音頭民地重要 日籍 ご 一名 エー・	殖民地重要		3	間島全部撤	Name of the last o	OH X	巻全部無償の	本人。对院被主意为有で三角且日本人	•
或目145回华·北山中子	等数は、一般のである。	文字は最大の音音の中で記述しているのでは、中ででは、中ででは、中ででは、中ででは、中ででは、中ででは、中ででは、中	教員会要さい 緊切でが見れている単校 74 加を明後での中で	中等教員会議成立事で	高争市道具交量東外及置きの	の論此中でに女子の、學立と現り三十校需要者次obupeで	行うを使立一百名の足を 四	一人一大学をはいる。日本の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	の入學者の中の日本細數學の	の此修了省中の分毎立平均量	一六百以上の上高次の無疑的。	「山北」府立の数及道際所	「三一千五百二十一」」の違う	在面數二千五白二十二面 山	数プログロ朝鮮全道が在	日前に切等学の最終了を皆一上に年後8 こ全学級の完成で	面一豆制量質施をできせ	型マリコ大正十一年度早 to 1967年 1	日三年主事	M種当合でや一百三十四以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一等男の公實業男の最後年 大	で記事で、政権の政権を行う例で、十二十二	「不然を四人學を該學回の」「	『富年數引補習教育》行で 坦	・子籍近の神色での人名言 語の強張の子政のは、	2番豆分中等学立、實業學 14	·特四年間可普通學 五臺灣	三年本事	はタブ(我餐二	か謝難を辿っの日中	16木吉荷一氏三川品人名	賞を授與でユ四村殖産局	辛四十二人、三等四十九人 第八百八十四人中一等十八	後美濃部會頭의醴解ルタ	一般が列席では三山都会長では、漁部台域に下側が着る出	台場の対震質授與式当行	東京を押倉州州今三日子 られる	平雪安安里一文	一七貞洞法·初局會議室89分	総督府第二智識室の女子の限行員半数分協使且五日の親	東電	上等開始を中国日	上其		行当期を予阻浦を才解決	三中央政府を共成に同心に大川関が引火のより、1980年の1980年に対して、1980年に対しに対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対しに対して、1980年に対して、1980年に対して、1980年に対しに対しに対して、1980年に対して、1980年に対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに	当时に物理以明立金量用	行乎	上推築五四日(東京電)	司令官を参加で沙山東方へ	合 議 一	(東京地)	か きょうきょう	兵 t	(哈爾爾德)	の石炭の山麓の在でのと い	一番を加速でのと明ま所以 会社の関係を関いる。	(4.5 一種・ 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
197月日本東京のでは1950年	© 立初等整理教育37機綱外作表使以規則中共一部31改正之斷 (*)也多男女高等普通縣校必程立下	14月である平道はないなどでは、2000年に設定に此以事の着・1200年の教育制度並其施設の教育の	赴任以來	1975年197日の日本の山田の日本の山田の日本地の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の山田の	明米別様人上下いり合当州で	医甲改善 宣言	は出来を抜けるりでは、一つ	教育調査委員會・出版でいた。	付5分別會中21第一回朔靜臨 24例氏之再昨二日午前十時の總74	マコス京が代表金乗主・金舗官	10例月會人員及東來有志以發 3	改善建議条止	金山有志多言		100 に朝鮮文弘 「協主材料外」	十、明鮮の分特可編纂五教科の一番第二番の一	米の派遣をいれば立数員及	を省最多數選接で呼出本及とします。	九、中等學校專門學 正 又 七大	の人から言葉にも思いる語で	の三年五事	907元第大文情神の三分配許でて、利立寺立立員2枚月8条で	NA CE DE LA REINA	相合で・体設・引完全者可期を領	MJ道着窓入い山支면官私小山を設置を受い場合を	中国基保護政治刑官叫同時 8	J學可養獎勵での現在日本立一年の表別では、1945年日本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本	CM立の見名補充名の極り心	明待ヲ不可能並今官의未及處	成立の採用選挙	及亚民 医朝鲜 人中 6 分多數卷 七五 中等 电阻比上导 医乌 激量 元	英必要力尤切过此有 这 可可	変表面氏の変換5種別を呼吁を呼びるのは数	の場別書のごな便利でユ且初 の場別を回りででである。 では、これでは、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	で音楽校会管明州を立中徒等で各充分可察知ッと人の忌さ	・一家庭 3 狀况 7 民情風	「如所でから、そ言語・記念・四日的教科機服のコンスでいこ	「金色の山田県校三其本質上」、	の小杖医は意見を表現して中心と同の連絡を開発列で中華	校の教員と學校當局者外學	の耐への見分を日教員の朝鮮	の、初等学校习校長の世中へ	底計此三途以列不能並所以	「智工衛且綜合大學のマリ巴」	立由是皇文化의向上当間で	で作うの対演典社界術を行むる美質成立の最高学問の指表	当學者者招級でコ將來可學	の明月下能で十一種を対す	数名大學を表示数からと	東京会主の コ	では、東門等は最多数投資を3つで、東門等自由呈選擇利で許可	での者は趣味や志室を贈せて加えている。	等等位3位了省 7市 安慰者7	数主義投資工事	一、典・工、商、水産、産業等の	神川山麓大宮岡中国八時一の神県校川教員の大部分此番	別不能対所以の可然等	のさの現今日本の対処改員一	學校出身中8分採用型對言	
ادروان وندر سام ساردار تحط آناو کا و	を当期東で日東谷に是供したが下名等の上費官の分審制決定基礎人の名	26市三分共進行を開空でニュローの動きの最大を希望中極度3	今日上下ルロ中此教育調査委員一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	神を外中式では引く過言のひと	風の記される	長男牌で長り配合り ヨハリ從さい同委員	殆可今後朝鮮教育コー育調査委員會の分決	2000年の日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一	門自名を見かられている。	作品及り一一列不止。	者一學皆欣賀の不堪のこれの	本的改革音でプロラジの教育調	で七中、又特可野鮮教育合	ジャンデ謂三面一文引 計制olos	通話取扱開始通告5對50年期	告前取得量請求をは、通話請求者の通話取扱開始	此限等不在區	可言通話請求後呼通々話モー	己請水省三通訪取消料 三納宮	* 左引各族当一引突第五意思を加入者相互問当通話引張を	四十八條二加人區域三異司	の日本の高麗島に比及り不平として出る。日本の一日の日本の一日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	認可後四四此量取消百首不得	『十條의三・至急閉通当申請と』	7加計收定雙後 4.5.3.3.4.2.1.3.4.1.1.2.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.1.3.1.1.3.1.1.3.1.1.3.	電記裁則對發表	プロコレリルをくると	大王十年代月二日	中野では、同国主教と言言	身置 NH 計画 直通路 of number 以上三種學 回回經常費及臨	い高等師範集校	· 李門 學 亚	調庫補助で支事	民会の財産をロニ分之一と道	風庫補助三分此の充富なコージの関連補助三分此の充富なコード	はオミなく、もらて乗り込上三種學立の経常費を押し	一 曹通師範學立	中等學校	と確衡無疑さり中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	民の校合建築等の對すの賦	シ叉変力の無社会の場合の場合の場合の場合の場合を表するののできる。	の事校の對定概念の人作品	江原故の上の四回	得名	四年三郎 は指行之今の立路 ・ 東京をでい事役権の充富・	少夏	を発生が生きた。 特当不平の無のガコ又過去	さい試験を増加では3 5何の発験で以続の場合を持つである。	不無支与現今中如可致有熱	西北山野戦の長れる地が、	9補助三型事 (2)城市で	二七府又七面民以常附	横の皇本等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(甲) 医密度尼斯艾德斯马氏氏 "一切等"學校	設經費が關すら	日、ヨスなと科交生	脚でゆど女郎常像定教科普量の	一十一、中等學校以上可學校可以	朝鮮 三事情の唯合,也以是多数。	
	支降の無事制	門以上引教育的任文中	草重の豆分別鮮	現る期での個性三数版中の版での公正で動音生活	が呼びたい。日本の一大学の一大学の一大学の一大変の一大変の一大変の一大変の一大変の一大変の一大変の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学	地数写正簿斗無里が斗言從來敎育习根本方針되己	時勢5 艇應到	一、朝鮮人의教育之直白可民性	当調	左記	御採納でハ기量	名言第具で作出後でエイン直撃一談ノ無刃で기路で呼茲5別紙三	言識八宮5常之の荷	水東 重命 医决定室	草三、八本	葉煙草 一一毛起草 "热"之下一。 家煙草 一天,光光,三〇夕 一天,三七	切究、死亡、〇〇	されて、今本	種類 數 量 價格	城	格色	京仁南地。在芝大正九年中5 消頭	作 費 額	पे प ं च	野喜らの同日下四	「石田出頂定のドーの、稲岡等地量帳	大阪、奈良、伊也、	員平合を作官島、	即の來九日京城会	你这第五旧朝鮮人	教見区則	华五 十五日早年	一则六十錢	與四十錢	九十錢	八十城三十銭	未滿 六十銭	二五錢 廿五錢	未滿 三十五級 二十段	二十五錢 十五錢	區域 遊話中十 一回 8		基 1. 题 信员 2.31 定处外,次 所前,揭示客其通話區域 2.	山空江運消風域山共行運話	徐を、こ左・漂撃列佐でか及呼川料に特可告示。 蟾園	一加人區域以外通話回通話祭設料を出書告が8	二項第四十條三規定支出	31土地31萬州並第二條第九項第一號乃至第三號及第五	第二項 5左針引討改章	· 基础时间1 一	650船5依を呼呼出又も通知3月取前連結(呼出料又も通知料3月1日で	广通本語、至念呼出义区至念通 日	同一呼山區域での呼出体・同の選手を対し起。然近五般	经一部一块	四一加入區域内引通路体一連絡の	7. 通話科、通話取消料、呼出	Y如可加含 — 東部以號57左 刺外六十五條 第一項第以號5左 刺	理論正は対かい直旨豊中機をは低回又と不作其他の事由の依でか	保者 一方の添話 必要기無恵	
	さいが可以有きる學校与此書分		高等普通的企工品	並具生活の必須せ智識機能を対している。	こ見 軍 身體 二 夜達	坦學校記で立背 校、高等普通學	通教育等基學校告此言(大學教育等含含) 955	阿範教育、實業教育、專	发其目的	一、學校		比が州際区教授時數量適宜増一但教科目の七朝鮮語者加支コー	然可日本中同一で八高事	年版,入學年齡及月資格等。日	◆委員長水野總監人和町一丁目」) } 3	及植	育調查委員會職員	會戰員音折	そのほぼはご写教任	工皆川安養解助役の新す」と	畑野中浦塩驛長の其後スメ海県長陸工第二氏プロ	がは単数では、これでは、一切が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	佐々木敬三郎氏乃平地縣希	砂路長当退職5件では平均解投資の中均解技中川後も氏立列法が表し	断線駐長更近の	X THE STATE OF THE	宣示第三十五號 J. 例	東中告期間内の建っる。 科田長の フザルでロー な	ボルナ	條及同第十五條: 紀二代十五日內3后 収	名と大正十年五月二十八十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	の一條5規定可以/ ga	が任文林野以外の十名名		川郡林野調查	三安協会行社中日中	公職者協議會雲閉でユ具でア成理事官の同行でグロラ	欣賀百五十圓金補助包さる	十名録音央定を立一名(引きれた)を	一万間での今月下旬出変現の	て反方可用推引き都方成一分観察者行至耳來六月	都市並廣島市の在意都へ	不視祭園資組織。元東京「	音	公職者服祭麼	H P	可是今五川中旬、夏金工	こだかを削削さ付ける 不過ぎの豆分仲以入夫他	扱者モ米商及一部別米で	スoLの触り両正米市場と	果龙: 苦咚 化量位子叶	可々なのと、	則3基での此将後以祀の川の外其數量定で工稿督	組合の対申納中心正米市	三丁易午丁川	理事 1780年 1750年 1750年 1750年 1750日 1	後のは、元代の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	ニ川之邸	,
旦うにく	5 湖芝高等3 學術技藝等5 湖芝高等3 學術技藝等	、經濟、文學、、農、工、門學立又之大學と法律	事。 《《李明》 1年以下四四修業年限》 11年以下	上五年以下豆での實業補	※補督學の音楽設裏事	出版技能で受けれるという。	景適宜設置で写向且普通菜、製造、水産、商船、等の	紫牧育5 ヒ右側辺3外林	受ionoi記が目的ion	學校三での農業商業工業の農業学校、商業学校、	質業教育・事學校亡此意	水inoi配別目的in	良会養以を立高等師範集	0.日前 心科文 三普通科文	人京の中央何旅館の投行	に 様に 参列の ブスラウェ 大五月二 本六日早 古開門 本第一回 の記詞 一	院參議)中個院官制改正	場夏上二下安化道泙議員会	シロラ変デッスはお	中中でと不公平当郎青金朝鮮	本人の取る山害失い朝鮮人の安現在の境遇の在さりと利得と	如何間日鮮人の共同生活量?	日舒人で半分式でいず日本と	室の日 △二引山此七事實不可一	朝鮮人のブ専興を父へ吐をとして野神の	州界風を代賞の記頭管部では、	対総督の指示さいの「公京城市	置る計の当日向者道の事件議の天で中へ地方の七販資組合者は	三都賢位を取得を者が無人	川山東京にはいる。東京の東京の東京の一川の谷の観測の難をオーリーの限	作の対金さら入り手入り車・都質松三當局名フカー	三十二煙草政政局。引渡、云縣	登帯をアム人参とアリコ來大戦が蘇人の何5 体での番魚繁栄し	5 7 分別を利益を一下七百萬古のア分別を利益を一下七百萬古	リナはヨリ金をできて上て 却を次のひピアムー千七百萬!!!	鮮人名者―日創一致空臓怠慢 (二四十言い、符合以来での川	哲学 ミュ基金 こどこりて近來の熟語プロのなり	る次の中山標榜 b 久中 △のス	かい司日鮮人の利害側が看共いいる。	立差別の習りで欠います。コープリングのでは、これをは、これを見ることでは、これを見ることを表現しています。	機の見るだの司をける中央	附がいる向上別でなり本山の川が外の日本山の川が野色朝鮮人等の日	井の対映機可立中に及ら	世可尊は東州神人は著『君二母』で	土共版党権 垂水久司三井	野 5山外朝鮮人事の	以大利则三十目首名	殿一郎和泉町官舎、田	公・・ 大和町一丁自官舎 守屈祭夫に倭巫祗官舎	八高元勳以清進洞二八四	次氏東大門外京城製練百	以消尾版 山本摩藏	運動で到学、鎌田楽吉氏前上 に関前収入員上、海線的太郎氏度	三土忠造氏天真樓、後●四片山東石屋長が見十巻の	りょうがきをはずい ない とうしょう 一般 中が 原は 一般 はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん	支MC、人樣內份局是大和町/数/6局是官舍、姊時正治氏朝鮮/●1	一氏相町一当河内山財産完団使講宝仁河一九	(1)	
	銀衛北5九10	新 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	銀筒 : 五百二十五	取為記述。	新省 300 1000 1100 1100 1100 1100 1100 1100		新衛 150 150 11 11	取引 经公司 商品 音 日	名 前男 发动前男 发写	方杉 第三 日 · 文 图 中	いよべが言というなることに	後止旦中八丁ツ低で周己	東の頭目の田田田 等の船	初六十銭。呼弊ら有さりムリ	公定りの先限の一般智慧一部三十二個大十分	第一節 常限不成る中限中	氏を含土像側で立立合でい	阪東京地方氣配 三二三丁低 A	八銭3十名後、今朝天氣睛5~の低低豆腐億七十銭々スペコ五~	地三初付價格二十二圓五十錢音	日後期の大阪掘硬を因を呼當してプログラー	王・三日前接	「記書」が記るののでは、「記書」がある。	月限一一四、四〇	月限・五三、一〇〇石	一日取組高	假忌五十八瞬の大止で口	六十一隣のコマル五十五総十一時の始での一銭の上でコ先限	第五節 當限不成可中限。	地域の中が四銭が止ら中地域の中が四銭が出る。	殿の寄での〇八銭の山で工先	利川節(営展不及が中限の1十一時止ぎ中	マれ下落を外中ル反映での五世の三世丁多でにでのナー	なり三月一分でみではないというので、大十八九銭の名保物でリア	Lで立先限さ七十二三叶 5 ユーロのユを呼上数金高川三五統	第三節 當限不成 5 中限 0 上	スツロ六十八銭で	すけ7字然可買気中 でロッタイナ観り	現で ユラルトトで選ぶれ 外立四 殴り 止す立外	ツュ中限シニ 関十銭 5 始です」と	第二節・常限の七十銭州一口に経を当中・	五十銭の公定の五三買氣と低して900~1分割の前貨50~十二五	Q先限心一部數車8活動豆非 Q	中限50一十一周九十銭9〜20一十第一篇(『明51一十一個七十一〇	秋で「便中川優勢三立」です」	打獲9.又正後3六十餘广區1g 三錢91止並後。大阪前止3六一碗	マカツユミ大及反動三因で作三十一番地 三漸落で作二十二個二十七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	10年の「一個の「一個ない」	(艦寄)	五月二日後場	米	以上丰岡軍位	1000	七八三	三十日现在)	五四、五五	けば ロコート 一〇三、九一八 十島級弥 (五月二日現在)	况		
	15	寄 八台 1610	(カ 至	新 読	別	引 ::: :: :: :: :: ::	5 :	The state of the s	名 前男 後男 前場 後男	・	組 高 三二00万	節 十三圓二十三錢	節 一十三闰十九。	は、 と ・ 十三川十九。	值 士三四十二	付十三国十九	で二十二銭でよって	〇北西買豆一十三錢可止豆	「第一節・十三圓十九級の寄り	不變の日本の前場中に機られ	日十八銭四上を後各地見豆とは一門の合体が可保勢の状だ。日十二	(保勢)	五月二日後塩		-	大節 二十二圓五十五	四節 二十二圓五十二章	三節 二十二圓六十三	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	公定,便格	高個一十二個大十九個	二十二圓五十六號		殿川上支山営地人の東生すら大十段を	かすの大阪少許 高	4高價로止で立先型の七十七歳の始5	0000能賣至二十錢的下落	一九城市山を中 一九城市山を中	-	上で「上で「上で」と関う四十四	7反映で作七十九銭々へ 奥立七一五八5 好での十十銭音安に立て	(日三十銭の上で五中限と七十	プロ・買う者 Hの三十五銭の一般の一覧の三十銭のストン	第五 常陳色川十元鏡門始の	19.66個宝四十八段四十50千年の中本の一十五段	八銭、川でい五十銭番の対混の一方の五十銭番の対混	中山で立先限の大阪数丁安	一十二日 倒分的 可令七十六日 下一一一节四年,盆服47不成30年服55	ア無ッガルでは では、100mmのである。100mmのである。100mmのでは、100mm	将来母親長推測でコロ物の少く	前門金上波を共4十紫地人間 で179女中先限の大阪時勢八四 -	中限が是二十二個〇一銭3一 0 三節 常限六十銭3一口ガタ	一種ののロ六十億三十四十百十一世	金国のの一層以来でリカナル	で十大阪後高さる早間側5分回中大阪後高さる早間側5分回	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「	第二節 发展。2一十一四六十	
	和教司的 1000 1100 11100 111111111111111111111	中職の一名と一名の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	九の九元	歌行J	OCH.	三代 :: ・	引 等 五元 五元 :	: 15	1	休 名 本		というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	0分	では正・側の対と放び立定期	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	マストコメリの日生党のようを	2店で主人公5一十一月二十邊	一大商側 つしな 目前 小目 られ 出	著前の相談ので香管との対することできる。	かけ	ら表んい	市店	Will's	Θ	世別須見され	が、邦見が	10000000000000000000000000000000000000	上時外三名也以愛助「父五年時	9月2日着手対民。8/4十万今 10月0日でフマラグス4日解析	政治不言概察でこう □ 「一」には、	恒常冷御を顧腦引分此時間が	でいる此時期急選系の早久生	で者や果で工失き者も形象など	作品では、明書得	(外) 「いりで 団 む 音 スペート 一 第 刊 時 期 量 選 定 で ス	そう●何事業員勿論で、適		秦 温颜节	於 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きりべ	10000000000000000000000000000000000000		m	一年 一	û	品值 十三圆二十五键 十三圆二十五键	行	第二帝 七	三角の小は	第一節 〇一云質是十三世二	対鉄	での儀者一丁の差かり立という	İ	五月二日前場	以終石以 二二三、〇〇	大月殿 元三、一〇〇石	川政 二二大〇	質は場不敢し、六〇〇石	,

爆彈

으로 핀계수

의원교육명의 사실

 चित्रचार के स्वराह्म स्वरुप्त करेगा हुए से स्वरुप्त स्वरुप् 우지노사일이십팔일 오후두시장 육 지나인뒤에 첫던조천인로 이 종도오정목에서 운송영업 등자한명이 일봉되면지호장을 다 이 어엇단삼십세기량된 조천사람 정기도바리퍼론주 고속에노십 등학교 유취인은 광유교학하다가무 환화되지 전환장한 기자고 교종 급 및 재 연은 앗기망쥬군리된현 게보 시키라고 표면에다분명하 그 뇌도하물(하장)의 운임(運賃) 목학교 유취인은 광유군 "廣 학방과 남이지돈으것을더보던 개보호살조합기가 보니당나고의로인고 음신유키어려온주 현금으로보인 등학기가 되기 그 뒤악삼십분가량 뇌지말고 쇼칠슈(小切手)를 때문학 기자 그 그 뒤악삼십분가량 뇌지말고 쇼칠슈(小切手)를 때문학

京城府錆路

引換으로酬應

世界洋

百

터시

記令祥覽注 文すれる全 多少不拘さ八고速々注 村変顧各位의厚思さ萬 する日倍前 美麗句製造販賣すが事 便の足一層擴 라 丘報答 団 져

지역 사용 기관 사용 기관 보는 지역 의 교육 전 () 기계 시의 교육 전 () 기계

| 蒙愛護す仏や 感謝無地で各円開業さ 以來 引社會諸位의 京郷 以來呈社會諸位斗 京郷萬寧さ召을 仰祝さ오며

張するユ



至自 日日

華文仕七日正午月七、三温、廿六日瓜作五一、三

後大時間

午七時十三分

林